

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

日新製薬株式会社

天童市にある日新製薬株式会社の社員、板垣奈実さん取材しました！

板垣さんは、山形大学工学部を卒業した後、2005年に入社しました。

現在は、企画開発部開発課に勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか。

私は企画開発部の中でも、開発課という部署に所属しています。開発課では、ジェネリック医薬品と一般医薬品の処方検討と製法検討、それから試験法の確立、医薬品の有効期間の設定等を主な業務としています。私はその中でも分析をメインに行っています。

例えば、温度やpHを人間の体内に近い状態に設定し、先発製剤と同じ条件で溶けるかどうかといった試験をしています。

開発課はいくつかのグループに分かれており、各グループで7~8品目を担当します。チームとして働いているので、自分の仕事内容だけでなく、チーム員の仕事内容を把握することを常に意識しています。



——板垣さんが思う、日新製薬の魅力は何でしょうか。



ジェネリック医薬品は、付加価値をつけ、より質の高いものを出すということがモットーです。そのため水無しで飲めるように改良する、味や苦みを改良するといった仕事に力を入れて取り組んでいます。

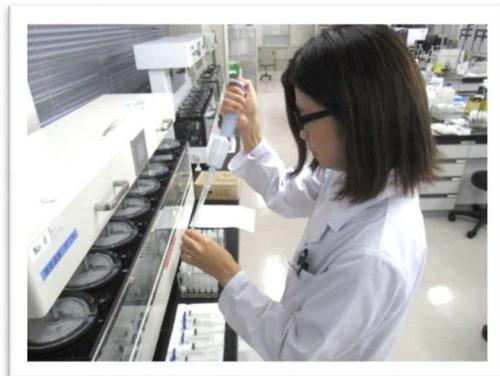
他社に負けない付加価値を作り出していることが魅力的だと考え、そうした企業に勤めているということを光栄に思っています。

(2) 職場編

——日新製薬に入社を決めた理由は何でしょうか。

私は山形市出身で大学も山形で過ごしたので、山形で就職したいという希望がありました。そこで、研究開発の仕事ができる会社という点に魅力を感じ、日新製薬を選びました。

学生時代は工学部で、どちらかという化学系の学科に所属していました。界面活性剤の研究をしていたんですよ。手を動かす実験が楽しくて、将来も実験を行える仕事に携わりたいと思っていました。



——入社して良かったと感じるところや、大変なところはありますか。

薬にとっても詳しくなり、家族の健康のために私の知識が役に立っているので良かったなと思っています。また、開発という仕事柄、常に新しい品目の研究開発を行っているので、いつもフレッシュな気持ちで仕事に取り組みます。それが私のモチベーションアップにもつながっています。

ただ、研究開発の仕事はトライアンドエラーの繰り返しです。なかなか答えが見えない時もあるので大変な面があります。

——忙しくなる時期もあるのでしょうか。



常に期限ありきの仕事なので、忙しくなるタイミングはありますね。ジェネリック医薬品は先発製剤の特許が切れると販売可能になります。このタイミングに合わせて様々な申請を行う必要があるため、その直前が一番忙しいですね。

——会社の雰囲気はどのような感じですか。

アットホームな雰囲気です。3～4年に1回社員旅行もあります。またソフトバレーボールや陸上などのクラブ活動も盛んです。ちなみに、釣りのクラブでは会社独自の船「日新丸」を所有しているようです。

親睦会として、工場のグラウンドで芋煮会を行うこともありますね。



——医薬品を作るとなると、特別な資格も必要になるのでしょうか。



私の部署では、何か特別な資格が必要、ということはありません。毎年2回、会社のサポートを受けて通信教育を受けることができます。毒劇物の勉強や、化学薬品の扱いといった項目があり、そこから選ぶ形です。

(3) ある日の過ごし方編

● 5:00 【起床】

朝食、昼のお弁当、夕食の下準備まで一気にこなします。

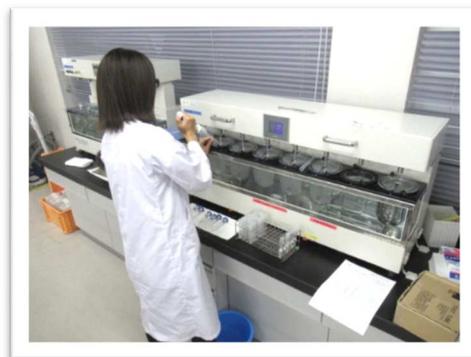
● 8:30 【出社】

出社後、チーム員の日報を確認し、前日の進捗状況、その日の予定を確認し、チーム員の仕事を調整します。

● 9:00 【分析検討の業務開始】

前日にいくつかの分析条件を組んで、夜間にオート分析を行った分の解析をします。

良好な条件がなかった場合は、さらに分析条件を変えて分析検討を繰り返します。



● 10:00 【経時安定性試験の実施】

新規申請予定品目の加速経時品の純度試験を実施します。

● 12:00 【お昼休憩】

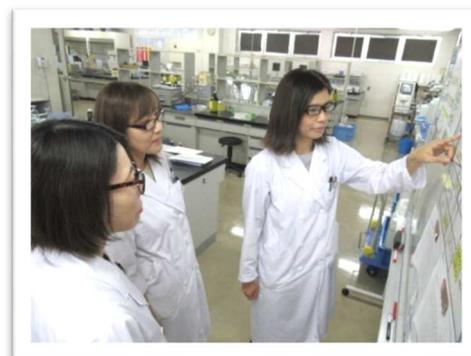
同僚とお弁当を食べます。



● 12:50 【打ち合わせ】

検討中の新規品目について、試作を担当する製剤グループと、分析を担当する分析グループ、そして上司を含め、製剤検討の進捗状況について打ち合わせを行います。

現在の課題や今後の検討内容を報告、相談し、全員で納得できる結論が出れば、新たな検討へ進みます。



● 15:00 【申請資料の作成】

新規申請予定品目の申請に必要な資料の作成を行います。

● 17:30 【退勤】

退勤後、長男を幼稚園に迎えに行きます。その後、長女を学童保育に迎えに行きます。帰宅後はあまり個別に話す時間がないため、車内で子供たちの一日について、それぞれの話を聞くようにしています。

(4) むらやまでの暮らし編

——山形市のご出身なので、山形で就職したと伺いました。村山地域の良さはどのようなところだと思いますか。

我が家はよく蔵王に遊びに行きます。夏は避暑、冬は子供のスキーの練習に行きます。それから、家の近くには河原があり、子供の自転車や縄跳びの練習をしに行きます。

やはり山形は自然が豊かなところが魅力的だと思いますね。子供を外で遊ばせることができるのはとても良いです。

——板垣さんをご結婚されていてお子さんが二人いらっしゃるそうですね。子育てと仕事の両立はどのようにされていますか。

入社してから数年後に結婚して出産したので、その間に産休と育休を2回取得しました。私が休んだ後も同じ職場、同じポジションで仕事に復帰させていただいたことには感謝しています。

また、日新製薬の規定の中で有給休暇を利用し、学校行事や幼稚園行事にもほぼフル参加できています。子供が保育園に慣れるまでは、時短勤務の制度も利用していました。少し仕事を抜けても周りの人がうまくサポートしてくれますし、温かく送り出してくれます。



同じ課の中にも、男女問わず同じように子育てをしている人たちが大勢いて、昼休みにお互い会話をしています。

さらに私は山形市出身なので、同居していないものの両親が近くに住んでいます。そのため両親にも子供たちの送迎などで協力してもらっています。周りの人たちの協力が得られているからこそ、今の私の生活が成り立っていると感じています。ですので、後輩が当時の私と同じ立場になったら、今度は私がサポートしてあげたいですね。

——仕事が終わった後や休日などは、どんな風に過ごしていますか。

二人の子供が小学校と幼稚園に通っているのですが、時間差で迎えに行きます。その時には、子供と1対1で話す時間を取るようになっています。平日はドタバタしてしまい子供と遊ぶ時間はなかなか取れません。その代わりに休日は、晴れていれば屋外で一緒に遊ぶことをノルマにしています。自分の体力維持も兼ねています（笑）。

——村山地域でお気に入りの食べ物はありますか。

河北町の冷たい肉そばが好きですね。

(5) まとめ編

——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。



私は現在グループリーダーを務めています。グループリーダーとして、開発の業務が滞りなく進むようチーム員の仕事を調整できるようになることが、私の課題であり目標です。

また、分析時間を短縮することで、工程を止めてしまうリスクを軽減することも重要です。誰がやっても同じ結果を出すことができ、かつ簡単な分析方法を開発することを目指しています。

——私たちはまだ学生ですが、社会人になる前に経験しておいた方がいいことは何かありますか。

とにかく様々な企業を調べるのが一番だと思います。また、日新製薬も含めインターシップに力を入れている企業がたくさんあるので、そこに参加して自分の目で確かめることも大切です。また、学生時代を楽しむことも大切だと思います。

——ありがとうございました！

板垣さんのお話の中で「後発医薬品だからこそ付加価値を作り出している」という言葉が一番力強かったように感じました。皆さん有意義に、そして、各々誇りをもってお仕事をされていることが伝わってきた取材でした。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 御船結賀、長沼莉保、高橋依吹】

日新製薬株式会社

【ジェネリック医薬品を中心とした医薬品製造を行っています】

強力な光をパルス照射する技術をいち早く医薬品に応用し、加熱滅菌の難しいポリエチレンボトルの最終滅菌を実現しました。また、最新の設備を備えた工場を竣工するなど、新しい技術を積極的に取り入れております。2020年3月荒谷工場に新たにフルコンテイメント棟を増設し現在も事業拡大しております。

★第44回グッドカンパニー大賞（グランプリ）、第40回山形県産業賞、山形県発明協会会長賞、ふるさと企業大賞など受賞、山形いきいき子育て応援企業優秀企業【ダイヤモンド】認定、山形県ワークライフバランス優良企業知事表彰

- ・所在地 山形県天童市清池東2丁目3-1
- ・設立 昭和32年10月
- ・従業員数 1003名（男性524名、女性479名）
- ・URL <https://www.yg-nissin.co.jp/>

